

平成三十年度 第7回山上憶良短歌賞受賞作品一覧

小学生の部

憶良賞

おやじギヤグすべりすぎだよお父さんすべったところでもおもしろい
弟と将棋するたびぼくが勝つもつかいやろうと弟が言う
おいしいないいつも食べてる味なのにこの弁当はひみつが多い
みんなで見える花火がきれいおねえちゃん二人もなまえに花がついてて
この夏におばあちゃんちの文鳥のピーちゃん消えたかごを残して
にいちちゃんのおさがりのふくちようどいいすこし大きくなったみたいだ
看護師の母まだ仕事に出かけてる食卓のいす一つあいてる
お味そ汁心落ち着く祖母の味私の好きなさつまいも入り
佳作（多田典子選）
おふろでねおゆでつぼうだかあさんとどっちがじょうずおばけたおすの
佳作（倉益 敬選）
おばあちゃんめがねをかけてもできてない私がやろうか糸を通すの
佳作（岩垣和久選）
じいちちゃんは「ゴツチン」今日もぼくたちにおでこを合わせて「ただいま」という
佳作（中本久美子選）
お父さん野球のかんとくおにコーチ家ではやさしいお料理上手
佳作
いちごパフェわたしがたべたいてっぺんをゆずってたべたいもうとのえがお
佳作
からんころん道にひびいたこの音はぼくと弟おそろいのげた
佳作
お母さんが包丁でだす音楽はなぜかおちつく心のメロディー
佳作
親戚のお誕生日に招かれた一人の祝いに三十人行く
学校賞 倉吉市立明倫小学校

中学生の部

憶良賞

母の日に直接言えないありがとう液晶画面の味気ない文字
おいらの字、大きいんだぞ見てみるよ、おいらの書く字は、父親ゆずり
入選
「秘密だよ」「大丈夫だよ」本当に？「親にも言わない姉妹の秘密」
入選
勉強の間に少しマンガ読むその時にだけなぜか母来る
入選
お母さんすぐ怒るけどすぐ治る親の気持ちは良く分からない
入選
寝てる時半目になってるお母さん眼球動くとてもこわいよ
佳作（池本一郎選）
父社会兄理科数学母料理私は何ができるのだろう
佳作（多田典子選）
お姉ちゃん弓を持つと顔変わる的に向かって音響かせる
佳作（倉益 敬選）
「デニスしよ？」デニス部だった母が言うボールを打っても返ってこない
佳作（岩垣和久選）
言いすぎた胸に刺さった母の目が学校までの長い道のり
佳作（中本久美子選）
真っ白に戻った白衣かばん入れいってきますと月曜の朝
佳作
制服にそでを通して思い出す着たいとせがんだ姉との会話
佳作
お姉ちゃん帰ったときの第一声ただいまじゃなくて私の名前
佳作
母と行く最寄り駅までの道のりはもどかしいのになぜか嬉しい
佳作
朝おきて単身赴任の父あてにラインでおはようまだ未読中
佳作
大嫌いな母に叫んだこの言葉言ってから気づく母の悲しみ
学校賞 学習院女子中等科

（敬称略）

鳥取県	倉吉市立上灘小学校	六年	山本 善太郎
鳥取県	倉吉市立成徳小学校	六年	山崎 翔太郎
鳥取県	倉吉市立明倫小学校	五年	高間 蒼平
鳥取県	南部町立会見小学校	三年	福井 咲花
鳥取県	南部町立会見小学校	六年	潮 帆乃香
熊本県	荒尾市立平井小学校	一年	石橋 洸季
鳥取県	倉吉市立北谷小学校	六年	美田 空
鹿児島県	鹿屋市立串良小学校	六年	安藤 夢乃
鳥取県	琴浦町立船上小学校	二年	福本 真基
鳥取県	湯梨浜町立泊小学校	六年	河本 夏華
鳥取県	倉吉市立北谷小学校	六年	田巻 陽悠
鳥取県	倉吉市立成徳小学校	六年	秋山 源太
鳥取県	倉吉市立明倫小学校	二年	長光 星空
鳥取県	倉吉市立西郷小学校	六年	山田 笙介
鳥取県	倉吉市立西郷小学校	六年	川上 ゆい
鳥取県	倉吉市立上北条小学校	六年	宍戸 敦士
東京都	学習院女子中等科	一年	新谷 敬
鳥取県	倉吉市立西中学校	二年	佐伯 翔太
鳥取県	倉吉市立鴨川中学校	三年	東 裕美子
鳥取県	倉吉市立河北中学校	二年	福岡 彩乃
鳥取県	三朝町立三朝中学校	二年	川崎 仁登
福島県	会津若松ザベリ才学園中学校	二年	岩渕 咲良
鳥取県	倉吉市立河北中学校	三年	藤井 修美
鳥取県	倉吉市立西中学校	二年	松田 紗来
鳥取県	倉吉市立久米中学校	二年	田中 るい
東京都	学習院女子中等科	一年	青木 茉莉
鳥取県	境港市立第三中学校	二年	谷田 千紘
鳥取県	倉吉市立西中学校	二年	大塚 咲希
鳥取県	倉吉市立河北中学校	二年	伊丹 樹里
東京都	学習院女子中等科	一年	中村 梓
東京都	昭和女子大学附属昭和中学校	二年	篠原 瑞希

高校生の部

憶良賞

入選

入選

入選

入選

入選

佳作（池本一郎選）

佳作（多田典子選）

佳作（倉益 敬選）

佳作（岩垣和久選）

佳作（中本久美子選）

佳作

佳作

佳作

佳作

佳作

学校賞

姉ちゃんに最近彼氏ができたらしい野球のルールに詳しくなった
十三と離れた年の弟と漣見つつ歩く砂浜
弟よ兄をなめるな図に乗るな言うこと聞けよおやつ食うなよ
週末の母の寄り道行き先はやせてしまった父の病室
「迎えきて」父の返信「り」の一文字気分はどうやら女子高生だ
「馬鹿じゃないの」言葉を荒げる涙声ああ私母の娘なんだ
うるせえよついでにしまった悪い口母の背中がしゅんと縮まる
「母さん」とママから呼び方変えた時子供と大人の線引きをする
おばあちゃん話すと毎回武勇伝私はなあとおしやべりはじめる
「ああよださい」祖母が口癖言ってくる昔の言葉を知らない私
「今帰る」送るとすぐにつく既読画面で躍る母のスタンブ
家近く道路を走る薄暗がり月光の下立っている母
父さんと並んで2人歯を磨く今では身丈差頭一つ分
困ったらいつも駆け込む母親はコンビニエンスストアのようだ
「期限前？」チラシ持ち聞くおばあちゃん裏に書かれた「かたたたきけん」
誕生日母手作りの焼きプリン「生まれた時のあんたの重さ」
鳥取県立倉吉農業高等学校

一般の部

憶良賞

入選

入選

入選

入選

入選

入選（池本一郎選）

佳作（多田典子選）

佳作（倉益 敬選）

佳作（岩垣和久選）

佳作（中本久美子選）

佳作

佳作

佳作

佳作

佳作

二人して荷を解き入れし新居には互ひの家族の写真も飾る
直球じゃあきついよ息子この次は金魚を掬うように言ってね
九十が九十を押す車椅子みどりの風の道を行くなり
くれないの小菊日毎に濃くなりて一人前の未亡人となる
やはらかく風船かづらの実をのせてあなたの秋の厚きてのひら
夫の死を何度も忘れる義姉の背を撫でつつ私は泣かずにいよう
庖丁を砥ぎ終へ娘に渡す夫ぼそつと言また持つて来いよ
入院の父につきそい泊る夜紐でむすんだ互いの手首
四キロを減量すれば穿けるかと亡き子のズボン今も取り置く
十六夜の月を見せんと臥す義母に姿見の位置いく度も変えぬ
流れゆく水のひびきを耳とほくなりたる母が手のひらにきく
デイへ行く鞆を肩に手を振りぬ今日のあなたは園児のような
「あっかんべー」幼女に返った一〇〇歳は働き者のごつい手してる
私と同一年なる雛飾る母の遺せる形見のひとつ
台風の進路に父母の住む地名一時間ごとに電話を掛ける
夫の愚痴を娘のあかるくかえすうちいつか紅葉の山門に着く

福岡県	福岡県立城南高等学校	二年	岩永 凌佳
鳥取県	鳥取県立総合産業高等学校	一年	中田 玄香
鳥取県	鳥取県立倉吉農業高等学校	二年	高橋 隆太朗
鳥取県	鳥取県立倉吉農業高等学校	一年	林 彩音
鳥取県	鳥取県立倉吉東高等学校	二年	山崎 響
岡山県	岡山市立岡山後楽館高等学校	二年	坂口 和奈
青森県	青森県立八戸東高等学校	二年	小舘 彩那
新潟県	東京学館新潟高等学校	一年	有田 光
鳥取県	鳥取県立倉吉農業高等学校	二年	濱崎 杏莉
鳥取県	鳥取県立倉吉農業高等学校	三年	日下部 直哉
鳥取県	鳥取県立倉吉東高等学校	二年	中村 阿子
鳥取県	鳥取県立総合産業高等学校	一年	福田 虎太郎
鳥取県	鳥取県立倉吉東高等学校	二年	岡部 千紗
青森県	青森県立八戸東高等学校	二年	志村 香姫
青森県	青森県立八戸東高等学校	二年	大釜 愛純
石川県	石川県立金沢錦丘高等学校	一年	川本 妃星
鳥取県			

岡山県岡山市	石川 眞一
鳥取県米子市	勝部 良子
東京都世田谷区	村上 京子
千葉県船橋市	秋谷 美保子
香川県仲多度郡多度津町	藪内 眞由美
山口県周南市	山本 邦子
兵庫県小野市	濱崎 敬子
千葉県松戸市	遠山 ようこ
沖縄県読谷村	新城 研雄
茨城県常陸大宮市	小田倉 量平
大阪府豊中市	杉野 裕子
鳥取県倉吉市	足羽 敬子
鳥取県東伯郡北栄町	山崎 久美子
山口県周南市	森元 英子
東京都武蔵野市	本田 いづみ
京都府京都市	森 雪子